

科目名	ディスプレイ実習Ⅰ				
担当教員	大沼 久子		実務授業の有無	○	
対象学科	インテリアデザイン科 空間プロデュースコース	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	選択必修	単位数		時間数	48時間
授業概要、目的、 授業の進め方	<p>基本的なDisplay・POP・ラッピング技術の習得と販売に繋がる演出力を、店舗等における販促計画や季節に合わせた表現をディスプレイを通して学ぶ。7月に受験する商品装飾展示3級の全員合格を目指す。</p> <p>1. 座学→プランニング→実習→講評→添削と解説を繰り返し行い習得レベル差ごとの指導も適宜行う。</p> <p>2. 目的を持って、表現する空間演出のプロセスを計画・実習する。</p> <p>3. 条件に則した製作の進め方の基本を理解する。</p>				
学習目標 (到達目標)	7月に受験する商品装飾展示3級全員合格を目指す。Display・POP・ラッピング技術の習得。販売に繋がる演出力を学び、3級合格率100%を目指す。商品の見せ方、並べ方の基本を習得し、売上げに繋がる技術を学ぶ。検定対策ともに就業時の即戦力になれるPOPラッピング技術の習得を目指す。学校内スペースを演出し、空間装飾力・技術力を高め就業				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	①商品装飾展示技能士3級の過去問題(学科・実技) ②検定ガイドブック・ストアオペレーションハンドブック ③おまたせしない実用ラッピング、pop広告制作マニュアル+オリジナル				
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	①52w MD 1年間のカレンダーを作り販売促進を学ぶ 季節感の表現を学ぶ		方法：作成方法の説明と解説し、練習課題の演習。 販促計画の基本が理解できている。		
2	②立体構成 立体構成の基本4種 コラージュ→実技 構成→撮影→企画書作成		方法：作成方法の説明と解説し、練習課題の演習。 立体構成の基本が理解できている。		
3	③平面構成 平面構成の基本2種 コラージュ→実技(A2パネル演出) 構成→撮影→企画書作成(校内展示)		方法：作成方法の説明と解説し、練習課題の演習。 平面構成の基本が理解できている。		
4	④POP・ラッピング 検定対策も兼ねて基本練習 丸ペン・角ペンの使い方 斜め・キャラメル・リボン結び		方法：作成方法の説明と解説し、練習課題の演習。 POP・ラッピングの基本が理解できている。		
5	⑤検定対策 6月発表後の実技対策 パーツ別練習・細部のサイズ確認、タイム計測 学科…テキスト学習→問題 ※苦手克服のために個別指導		方法：作成方法の説明と解説し、練習課題の演習。 検定対策の基本が理解できている。 準備学習：テキストを見ながら、手順を練習する。		
6					
7					
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
完成度・検定結果 80 %	評価テスト 10 %	取組姿勢 10 %			
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴					